

Cisco IQリリースノート2026年7月

概要

Cisco IQは、お客様やパートナーがシスコのサポートおよびプロフェッショナルサービスを利用する方法を変革するように設計された、AIを活用したプラットフォームです。Cisco IQは、複数のポータル、ツール、APIを1つのインテリジェントインターフェイスに統合し、Cisco Customer Experience(CX)の全リソースに対して「玄関番」として機能します。このプラットフォームにより、インベントリ管理、脆弱性検出、サポートサービスへの接続が簡素化されます。

Cisco IQモジュールと機能には以下が含まれます。

- 資産に関する予測的な洞察：インベントリ追跡ライフサイクルのマイルストーンと、関連するField Noticeおよびセキュリティアドバイザリの提供を統合
- 適応型インフラストラクチャアセスメント：運用状態およびセキュリティドメイン全体にわたるAI主導のアセスメントにより、カスタマイズされた計画と優先順位付けされた推奨事項を生成
- AIを活用したサポート：最新のケース管理とAIサポートにより、エキスパートエンジニアを模倣して根本原因の分析とケースの解決を迅速化
- プロフェッショナルサービスの自動化：計画、設計、実装、運用、最適化のための自動化されたデータ駆動型ワークフロー。デジタル要件収集、ドキュメントの自動化、テクノロジー移行、自動化ガバナンス、テストおよび検証フレームワークが含まれます。

このドキュメントでは、Cisco IQの新機能、モジュールサポート、および既知の問題について説明します。

リリースされた機能

シスコIQ

エグゼクティブレポート

Cisco IQでは、シグニチャレベルのケースに関する定期的なサービスレビュー(PSR)レポートを自動的に生成します。これはエグゼクティブレポートから入手できます。ダウンロード可能な各

PDFレポートには、次の情報が含まれます。

- サポートケースの要約
- サポート・リクエストおよび返品許可(RMA)分析のキー・パフォーマンス・インディケーター(KPI)
- 契約対象アカウントのみのソフトウェアメンテナンスウィンドウ(SMW)消費およびサービスレベル契約(SLA)分析

PSRレポートは最大12カ月間保存されます。

ピアベンチマーク

ピアベンチマークでは、アカウントのプロファイルを類似フィールドの組織グループのベンチマークデータと比較することで、状況に応じたパフォーマンスメトリックを提供します。Cisco IQ内のベンチマークメトリックを確認することで、同業者に対する自社の立場を理解し、改善が必要な分野を特定し、情報に基づいたアクションを実行できます。

拡張された言語オプション

Cisco IQは、すべてのモジュールとAI Assistantで英語、日本語、韓国語、標準中国語、スペイン語に対応しており、Cisco IQのアクセシビリティが向上しています。Cisco IQは言語プリファレンスを検出し、その言語のUIを表示します。言語がまだサポートされていない場合は、デフォルトで英語に設定されます。言語を手動で変更するには、User Menuを開き、ドロップダウンリストからLanguageを選択します。

 注：一部のAI Assistantユースケースでは、ラテン語以外および英語以外の応答がまだ完全にサポートされていない場合があります、英語で応答が返される場合があります。

復元力のあるインフラストラクチャサービス

Resilient Infrastructure Services(RIS)は、高度なAI時代の脅威に対する防御と対処を支援する、柔軟なサポートとプロフェッショナルサービスのスイートです。Cisco IQのAIに基づくインサイトを活用したRISは、お客様の露出とパーソナライズされたプレイブックを常に可視化し、検出、評価、対応のサイクルを加速します。また、エキスパートの主導によるワークフローと自動化を提供し、環境からこれらのリスクを軽減または排除します。

- Cisco IQ RISプレイブックの経験：脅威への対応とセキュリティギャップの解消を示すステップバイステップのガイダンス

- ・ 互換性のある資産に対するデバイスレベルのOSアップグレード：互換性のある資産のオペレーティングシステムを直接アップグレードし、最新の状態と安全性を維持します。

Cisco IQコネクタ

クラウドコントローラテレメトリと直接検出が重複する場合の自動重複排除

クラウドコントローラテレメトリとダイレクトデバイス接続(DDC)方式（シードファイルまたはIPレンジスキャン）の両方でデバイスが検出されると、Cisco IQで重複が自動的に解決されるようになりました。DDCはオーバーラップシナリオで優先され、重複エントリは抑制されます。

構成は必要ありません。インベントリおよび評価データには、修正された記録が自動的に反映されます。

資産モジュール

CSVファイルによる資産インベントリのアップロード

CSVファイルをアップロードして資産をCisco IQに追加することで、クラウドコントローラやオンプレミスコレクタを介して接続されていないハードウェアのインベントリを可視化するパスを提供できます。CSVには各資産のシリアル番号が含まれている必要があります。ソフトウェアバージョン、ホスト名、および場所はオプションです。アップロードされた資産はシスコのレコードと照合されて検証され、カスタマーアップロードデータソースの下の資産 > インベントリに表示されます。

サービスEAサマリー：成長レポート

新しいサービスEAサマリページが資産モジュールに追加されました。このページには、シスコのインストールベースデータから直接得られたインストールベースの増加が表示されます。これにより、お客様とアカウントチームは、ポートフォリオの変化を時系列で一貫した共有ビューで確認できます。

資産ロールと重要度の分類の手動上書き

Cisco IQは、資格のあるテレメトリ資産を、予測された役割（ルータやアクセススイッチなど）と重要度（ネットワーク内での相対的な重要度）に基づいて、テレメトリデータに基づいて自動的に分類します。これらの分類は、リスクスコアリング、AIアシスタントの応答、およびアセスメントの優先順位付けに影響を与えます。主な機能は次のとおりです。

- ・ インベントリテーブル：個別またはバルク編集の資産行で、「ロール」ドロップダウンと「重要度」ドロップダウンを使用できます。手動でオーバーライドされた値は、ビジュアルマーカーで示されます。
- ・ 資産詳細ビュー：同じ上書きコントロールが資産詳細パネルに表示され、元の予測を通知したテレメトリ属性の説明も表示されます。

評価モジュール

評価モジュールでは、組織の資産を評価してインベントリを可視化し、セキュリティ、安定性、キャパシティ、コンプライアンス、およびエージングに関連するリスクを予防的に調査して軽減し、ネットワークの安全性を維持するためのフレームワークを提供します。主なポイントは次のとおりです。

Quantum Safeインフラストラクチャ

アセスメントモジュールでは、新しいポスト量子暗号標準に照らしてネットワーク環境を評価し、量子対応の脅威に対する脆弱性を特定します。潜在的なギャップに対する暗号化の使用状況を分析することで、結果はリスクレベルで優先順位付けされ、セキュリティ態勢を強化し、長期的なデータ整合性を確保する実用的な洞察を提供します。Quantum Safe Infrastructure Assessmentには、IOS-XE (ASR 1000およびISR 4000を除く)、IOS-XR、NX-OS、ACI、Cisco Secure Firewall Threat Defense(FTD)、およびCisco Secure Firewall Adaptive Security Appliance(ASA)が含まれます。デバイスの暗号化部品表(CBOM)機能はベータ版です。

ソフトウェアリリースの適合性

アセスメントモジュールでは、アセットインベントリ全体で実行しているソフトウェアの適合性を評価できるようになりました。シスコが推奨するバージョン以外のソフトウェアバージョンを実行しているデバイスを特定し、実行するバージョンに関する推奨事項を提供します。主な利点は次のとおりです。

- ・ 特定のデバイスで実行しているバージョンおよび機能に最も近いシスコ推奨リリースの特定
- ・ シスコ推奨のソフトウェアバージョンを使用していないデバイスの分散割合の表示
- ・ 推奨ソフトウェアバージョンのダウンロードリンクにアクセスし、適合しないデバイスの修復ワークフローを合理化する

TLS証明書の有効期限

評価モジュールでは、証明書の状態の監視、証明書の詳細の表示、期限切れ証明書に関するアラートの受信が可能になりました。X.509 HTTPSおよびTransport Layer Security(TLS)証明書の有効期限を統合および分類し、証明書の更新プロセスに役立つその他の証明書情報を提供します。資産別の結果ビューにデバイスごとの証明書数と有効期限情報が含まれるようになり、タイムリーなアクションを取り、サービスの中断を防ぐことができます。

評価の使いやすさの向上

評価モジュールには、構成およびセキュリティ強化の強化された評価が含まれるようになりました。これにより、不確定な結果や構成ルールに適用できる最新のカテゴリに関して、状況に応じたガイダンスが提供されます。

ルール参照リンクの機能拡張

評価結果全体にわたるルール参照リンクが、記述的なラベルと組み込みのURL検証を備えた標準化された形式で強化され、リンクが整形形式でアクセス可能であることが保証され、より一貫した信頼性の高いナビゲーションが外部文書に提供されます。

Catalyst Center管理対象デバイスに関する強化された推奨ガイダンス

IOSおよびIOS XEデバイスの調査結果には、Catalyst Center固有の推奨ガイダンス（既存の推奨コマンドに加えて、設定テンプレートまたはインテントベースのプロビジョニングを使用した修正の適用など）が含まれています。

サポートモジュール

サポートモジュールでは、カスタマーサポートケースとRMAの統合ビューが提供され、アクセス権が付与されているオープンとクローズの両方のケース、および表示しているアカウントに関連するRMAが表示されます。

サポート層別にサポート案件を可視化してフィルタリング

サポート案件リストビューにサポート階層の列とフィルタが追加され、契約レベルでサポート案件を分離できるようになりました。この列は「ケース」ページと「サービスリクエスト」ページの両方で使用できますが、フィルタリングは「ケース」ページでのみ使用できます。サポート契約が関連付けられていないケースで使用できる値は、Basic、Standard、Signature、およびUncovered/Otherです。

ケースの詳細ビューと注記の帰属とタイムスタンプを参照

ケースの詳細ビューのTACプロGRESS詳細フィールド(Problem Description、Current Status、Action Plan、Resolution Summaryなど)に、日付とタイムスタンプとともに作成者の名前またはAIにより生成されたタグが表示されるようになりました。これはNotesタブでも同様に適用され、コンテンツがシスコエンジニア、カスタマー、AIのいずれによって作成されたかを明確にします。

RMA番号による検索とRMAドラフトの追跡

RMA番号別の検索がRMAリストビューでサポートされるようになりました。これにより、検索結果をさらに絞り込むことができます。また、RMAの詳細ビューの経過表示バーにDraftの状態が表示されるようになり、RMAのライフサイクルをより完全に把握できるようになりました。

デフォルトの90日間フィルタの削除

RMAとサービスリクエストのリストビューでは、デフォルトの「90日」フィルタがRMA、Your RMAs、Cases、およびYour Casesページに適用されなくなり、RMAとサービスリクエストの履歴をすべて表示できるようになりました。

新しいウィジェットとケーストレンドグラフ

サポート概要ページに、オープンなケースとRMAのメトリックを含む新しいウィジェットが表示されるだけでなく、オープンされたケースとクローズされたケースの経時的なケース量の傾向を示す、新しいケース傾向グラフが表示されます。新しいウィジェットは次のとおりです。

- ドラフトRMA
- RMAによる返品 の 保留
- 顧客処理待ちのサポート案件



注意: 「事例トレンド」グラフは、標準レベル以上の顧客にのみ使用できます。

RMAの状態およびRMAステータスの列の表示

RMAの状態とRMAのステータスがRMAとRMAのページの列に表示されるようになり、フォローアップが必要なRMAをより迅速に識別できるようになりました。RMA State列は、RMAページと

Your RMAsページの両方で使用できますが、Return Status列は、RMAページでのみ使用できます。

[ヘルプ]メニューから直接フィードバックを送信

Cisco IQのヘルプメニューにある新しいReport an Issueオプションを使用すると、Cisco IQでフィードバックの送信や問題の報告を行うモーダルが開き、問題を直接報告することができます。また、ヘルプメニュー項目が再注文され、検索性が向上します。

 注: 「問題の報告」は、Cisco IQの問題に対してのみ使用してください。エンドデバイスの問題に関しては、Technical Assistance Center(TAC)のサービスリクエストをオープンする必要があります。

Case Listビューの実用的な洞察

CasesビューおよびYour Casesリストビューでは、ケースリストの上に動的なInsightsバナーが表示されるようになりました。これにより、現在のケースポートフォリオに関して2 ~ 3件の優先順位付けされた実用的な所見が提示され、一目で次のアクションに優先順位を付けることができます。

AIアシスタント

AI Assistantは、生データを実用的な洞察、推奨事項、ガイド付きアクションに変換することで、Cisco IQの使用率を向上させます。既存のツールと統合して、個々のデータソースを活用し、複数のデータストリームにわたってインテリジェンスを統合して、リアルタイムの提案を行います。

トラブルシューティングのためのファイルアップロードサポート

次のサポートされているファイル形式をAI Assistantのトラブルシューティング会話に直接アップロードして、AIを利用した分析、サマリー、インサイトを取得できるようになりました。データやファイルの内容を手動で入力する必要はありません。

- テキストファイル(.txt)
- スプレッドシートファイル(.xls、.csv)
- プレゼンテーションファイル(.ppt)

- イメージファイル(.jpg)
- ドキュメントファイル(.pdf)
- 圧縮ファイル(.zip、.rar、.7z、.gz、.tar)

 注：アップロードはファイルあたり100 MB、スレッドあたり500 MBに制限されています。

デバイスレベルのセルフサービストラブルシューティング

標準レベルとシグニチャレベルの機能により、デバイスレベルでAI Assistantを使用したトラブルシューティングが可能になり、カスタマイズされた診断が提供され、ファイルアップロードによるデバイスの一般的なトラブルシューティングガイダンスを超えた包括的な根本原因分析が可能になります。

Cisco IQの機能とユースケースについて質問する

AI Assistantは、Cisco IQの機能、モジュール、ユースケースに関する一般的な質問や、ドキュメントの入手場所、サポートへの問い合わせ方法に関する質問に答えられるようになり、製品に関する基本的な質問を外部リソースから検索する必要性を軽減します。

既知の問題

次の既知の問題がCisco IQで現在積極的に対処されています。

評価モジュール

不正な影響を受けるアセット数の表示

現在、Assessments > Field Noticeでは、特定のField Noticeの影響を受ける資産数がField Noticeの詳細ページに表示される数を超えている可能性があります。ただし、詳細ページ数には、影響を受ける資産の正確な数が反映されます。この問題には有効な回避策はありません。

セキュリティアドバイザリのカウントに一貫性のない重複する資産

現在、Assessments > Findings by Assetでは、一部のアセットが重複するエントリとして表示される場合があります。さらに、アセットの詳細ビューに移動してアクティブなセキュリティアド

バイザリを表示している間は、リストビューに「影響を受ける」セキュリティアドバイザリの数
が「0」と表示される場合があります。この問題には有効な回避策はありません。

セキュリティ強化セクションと設定セクションが断続的に消失する

現在、Assessments > Overviewページでは、Security HardeningセクションとConfigurationセク
ション (それぞれの棒グラフとナビゲーションリンクを含む) が断続的に非表示になっている場
合があります。通常、ページを更新すると、見つからないセクションが復元されます。

Field NoticeがAsset Field Noticeページに表示されない

現在、特定の資産については、資産概要ページの棒グラフに1つ以上のField Noticeが正しく表示
されています。ただし、同じ資産のField Noticeの詳細ページに移動すると、「Field Noticeの問題
は検出されませんでした」というメッセージが表示されます。この問題には有効な回避策はあり
ません。

System Settings

サービス契約を追加できない

現在、System Settings > Service Contracts > Add Contractの順に選択してサービス契約を追加し
ようとする、エラーが発生する場合があります。契約を保存できず、エラーが発生して実用的
なガイダンスが提供されません。この問題の回避策はありません。

AIアシスタント

AI Assistantが脆弱性デバイスリストクエリに応答しない

現在、特定の脆弱性の影響を受けるデバイスのエクスポート可能なリスト (たとえば、「Cisco
IOS XEソフトウェアのWeb UI機能の脆弱性の影響を受けるデバイスのエクスポート可能なリス
トが必要です」) を要求するプロンプトを送信する際、AI Assistantは応答を返さずに無期限に実
行できます。この問題の回避策はありません。

解決済みの問題

このリリースの一部として報告すべき解決済みの問題はありません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。